

コード	401030805
記入日:	H22.6.11

課コード	116
課名	水産課
課長名	太田均
担当者	原佳秀

## 事務事業事後評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	奈摩漁港海藻プレート設置事業
----------	----------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 21 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6		
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3		
基本事業コード	40103	基本事業名称	水産業基盤整備の推進	目コード	2		
事務事業コード	4010308	事務事業名称	水産業施設管理費	細目コード	845		
関連計画		法令・条例規則等					

**計画(PLAN)** ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1)	漁協	(対象指標1)	1漁協			
(対象2)	組合員	(対象指標2)	192名			
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	海藻プレート50基の購入及び取付業務委託1式	***** 業務委託	***** 1.0式	***** 100%	プレート設置50基÷ プレート設置50基	***** 平成21年度
		①	(達成率分析) 予定通り海藻プレート50基を設置した。			
		②	(達成率分析)			
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 藻場造成面積	***** 1,200㎡	***** 100%	1,200㎡÷1,200㎡	***** 平成21年度
		①	(達成率分析) 計画どおり藻場造成ができた。			
		②	(達成率分析)			
海藻種子の供給のため、海藻プレートを設置し、藻場造成を図る。						

**実施(DO)** ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 21 ~ H 21		平成20年度以前	平成21年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 式	1.0	1.0		1.0	1.0
	②					
成果指標	① ㎡	1,200	1,200		1,200	1,200
	②					
総事業費C (A+B)		千円	1,919	1,913	1,919	1,913
直接事業費 A		千円	1,219	1,213	1,219	1,213
人件費 B		千円	700	700	700	700
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起債	千円				
	その他	千円	1,219	1,213	1,219	1,213
一般財源		千円	700	700	700	700

コード 401030805

**評価(CHECK)**

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 磯焼けの回復を図る事業は、自然環境の保全を図る事につながることから、漁民のみならず住民が回復を期待するものであるから必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 漁場環境の保全や増進のため必要である。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由 磯焼け対策として藻場の増殖を図る必要があり、目的は適切である。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由 過去の実績により、藻食性魚類の食害を防ぐことで海藻の成長がみられ、種子供給の核藻場として期待できる。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 海藻保護の手法に加えて、藻食性動物の駆除を同時に行えば、成果の向上につながる。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 藻場の減少により幼稚子の産卵場としての機能が損なわれ、漁獲の減少にも繋がる。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 磯焼け地帯が広範囲であり、個別に対策を施す必要があることから、他事業との整合が取りづらい。
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 部材購入と設置にかかる委託として、直接費のみ予算化したので、間接的経費を削減する余地が無い。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 最低の人員で実施しているため、不可能。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由 受益者が広範囲となるため、負担はない。

**改善(ACTION)**

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点  現在のところ、計画を見直す必要は無い。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策  なし
2次評価	漁業資源の確保に資する事業であり、設置後の調査も行うことで効果を高めること。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。